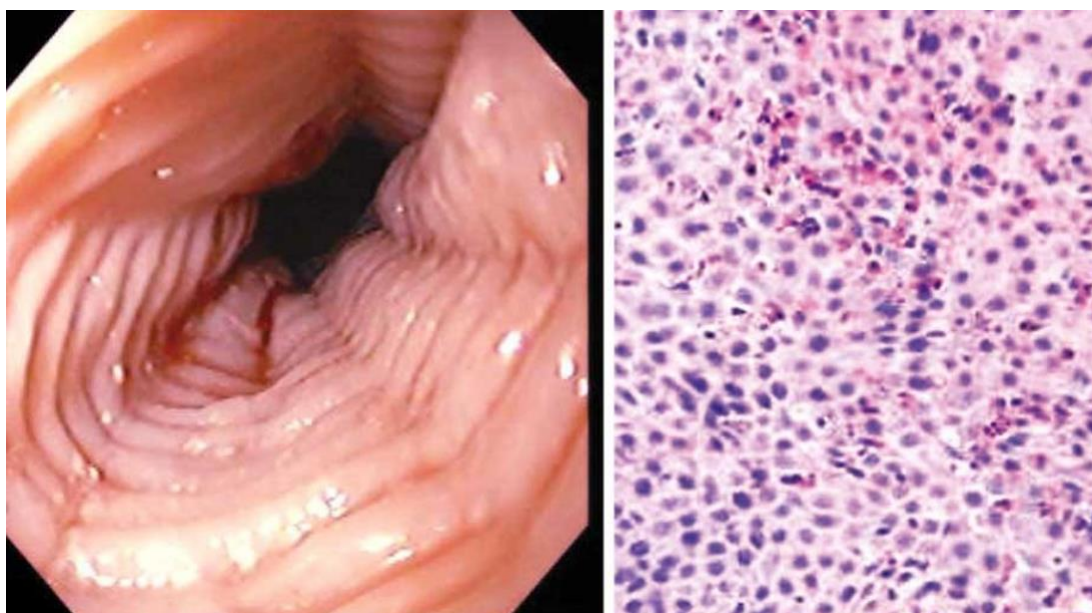


好酸球性食道炎にボノプラザン

食道上皮の好酸球浸潤によって食事のつかえ感などの症状が発生する好酸球性食道炎。初期治療で投与するプロトンポンプ阻害薬（PPI）が効果を示さない好酸球性食道炎に対して、ボノプラザン（商品名タケキャブ）の投与が有効である可能性が示され、日本食道学会学術集会で、島根大学医学部消化器内科の沖本英子氏が発表しました。



従来、PPI 無効例に対しては全身もしくはは局所のステロイド治療が選択されていますが、その前に比較的副作用の少ないボノプラザンを投与してみる必要があるといえます。

